

## Preface 010-1

## 情報モラル教育 ①

ねらい：情報社会で、適正で安全な活動を行うための基になる考え方と態度

## 情報モラル教育の内容



## 背景

☆インターネット上での誹謗中傷やいじめ、犯罪や違法・有害情報などの問題が発生している現状。

☆情報社会に積極的に参画する態度を育てることは今後ますます重要。

## 目標

☆情報手段をいかに上手に賢く使っていか、そのための判断力や心構えを身に付ける。

☆情報社会の特性の一側面である影の部分を理解。

情報モラル教育の充実

すべての児童生徒に  
情報モラルを身に付け  
る指導が必要。

**情報モラル**：情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。

## 内容及び指導上の留意点

☆具体的には下図にある2領域5分野の内容をもれなく扱う。

☆各教科等の目標と情報モラル教育の目標との関係を明確にする。

☆学校の教育活動全体を通して適切に情報モラルを身に付けるための学習活動を位置付ける。

情報モラルの指導は  
すべての教員が行う。

## 情報社会の倫理

★情報に関する自他の権利を尊重して責任ある行動を取る態度。

**小学校**：人の作ったものを大切に、他人や社会への影響を考えて行動することの大切さを学ぶ。

**中学・高等学校**：他者の権利や知的財産権を尊重し、情報社会への参画において責任ある態度で臨み義務を果たさなければならないことを学ぶ。

## 法の理解と遵守

★情報社会におけるルールやマナー、法律があることを理解し、それらを守ろうとする態度。

**小学校**：情報をやりとりする際のルールやマナーを理解し、それらを守る態度を学ぶ。

**中学・高等学校**：情報に関する法律や契約について理解し適切に行動する態度を学ぶ。

## 心を磨く領域

## 公共的なネットワーク社会の構築

★情報社会の一員として公共的な意識をもち、適切な判断や行動を取る態度。

**小学校**：協力してネットワークを使い、データやリソースを共有することの大切さを学ぶ。

**中学・高等学校**：ネットワークの公共性を意識し、ネットワークをよりよいものにするために主体的に行動する態度を学ぶ。

## 知恵を磨く領域

★情報社会の危険から身を守り、危険を予測し、被害を予防する知識や態度。

**小学校**：危険なものには近づかない、もし不適切な情報に出会ったら大人に相談するなど適切に対応できる態度を学ぶ。

**中学・高等学校**：情報社会の特質を意識しながら安全に行動する態度や、自他の安全や健康に配慮した情報メディアとのかかわり方を学ぶ。

★生活の中で必要となる情報セキュリティの基本的な考え方、情報セキュリティを確保するための対策・対応についての知識。

**小学校**：IDやパスワードの保護や不正使用・不正アクセスの防止などを学ぶ。

**中学・高等学校**：情報セキュリティの基本的な知識を身につけ、セキュリティ対策の立て方を学ぶ。

## 安全への知恵

## 情報セキュリティ

Preface 010-2

情報モラル教育 ②

ネット社会の歩き方



ねらい：情報社会で適正で安全な活動を行うための基になる考え方と態度

いつ、どこで、どのように 6年間で着実に

分類	L1：小学校1～2年	L2：小学校3～4年	L3：小学校5～6年
1. 情報社会の倫理	a1～3：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ		
	a1-1：約束や決まりを守る	a2-1：相手への影響を考慮して行動する	a3-1：他人や社会への影響を考慮して行動する
	b1～3：情報に関する自分や他者の権利を尊重する		
	b1-1：人の作ったものを大切に する心をもつ	b2-1：自分の情報や他人の情報を大切に する	b3-1：情報にも、自他の権利があることを知り、 尊重する
2. 法の理解と遵守	c2～3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる		
		c2-1：情報の発信や情報をやりとりする 場合のルール・マナーを知り、守る	c3-1：何がルール・マナーに反する行為かを知り、 絶対に行わない
			c3-2：「ルールや決まりを守る」ということ の社会的意味を知り、尊重する
			c3-3：契約行為の意味を知り、勝 手な判断で行わない
3. 安全への知恵	d1～3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる		
	d1-1：大人と一緒に使い、危険に 近づかない	d2-1：危険に出合ったときは、大人に 意見を求め、適切に対応する	d3-1：予測される危険の内容が わかり、避ける
	d1-2：不適切な情報に出合わない 環境で利用する	d2-2：不適切な情報に出合った ときは、大人に意見を求め、 適切に対応する	d3-2：不適切な情報であるもの を認識し、対応できる
	e1～3：情報を正しく安全に利用することに努める		
		e2-1：情報には誤ったものもある ことに気づく	e3-1：情報の正確さを判断する 方法を知る
	e1-2：知らない人に、連絡先を 教えない	e2-2：個人の情報は、他人にも らさない	e3-2：自他の個人情報、第三 者にもらさない
	f1～3：安全や健康を害するような行動を抑制できる		
	f1-1：決められた利用の時間や 約束を守る	f2-1：健康のために利用時間を 決め守る	f3-1：健康を害するような行動 を自制する
		f3-2：人の安全を脅かす行為を 行わない	
4. 情報セキュリティ	g2～3：生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る		
		g2-1：認証の重要性を理解し、 正しく利用できる	g3-1：不正使用や不正アクセスさ れないように利用できる
	h3：情報セキュリティの確保の ために、対策・対応がとれる		
		h3-1：情報の破壊や流出を守る 方法を知る	
5. 公共的なネットワーク 社会の構築	i2～3：情報社会の一員として、公共的な意識を持つ		
		i2-1：協力し合ってネットワー クを使う	i3-1：ネットワークは共用のもの であるという意識を持って使う